

運用でカバーした (?) 複数大学をまたぐ Moodle の提供事例

～ 京都三大学教養教育研究・推進機構による
教養教育共同化科目への対応 ～

京都工芸繊維大学 情報科学センター
榊田 秀夫 (h-masuda@kit.ac.jp)

京都三大学教養教育共同化とは

時代が求める新たな教養教育（京都三大学教養教育共同化事業）

京都三大学教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Sciences.

Kyoto Institute of Technology, Kyoto Prefectural University, Kyoto Prefectural University of Medicine

文字サイズ

小 中 大

背景色変更

標準 青 黒

→ 京 都 府 立 大 学

→ 京 都 工 芸 繊 維 大 学

→ 京 都 府 立 医 科 大 学



京都三大学教養教育共同化とは

サイト内検索

検索

Contents

» トップページ

» 京都三大学教養教育共同化とは

» 共同化カリキュラムについて

» 京都三大学教養教育研究・推進機構について

時代が求める新たな教養教育の構築



京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の京都三大学は、それぞれ100年を超える歴史の中で個性ある学風を培い、京都、日本、そして世界で活躍する人材の育成を行ってきました。京都三大学では、それぞれの教育理念を基本にしながら、3大学が共同することによって、時代が求める新たな教養教育を構築していくため、平成26年度から全国初となる教養教育共同化をスタートしています。共同化によって3大学の学生交流が促進され、下鴨・北山地域における新しい学生のライフスタイル、大学像が構築されることも期待しています。

<https://kyoto3univ.jp/p105>

「教養教育共同化カリキュラム」



Center for Information Science

時代が求める新たな教養教育（京都三大学教養教育共同化事業）

京都三大学教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Sciences.

Kyoto Institute of Technology, Kyoto Prefectural University, Kyoto Prefectural University of Medicine

文字サイズ 小 中 大

背景色変更 標準 青 黒

→ 京 都 府 立 大 学

→ 京 都 工 芸 繊 維 大 学

→ 京 都 府 立 医 科 大 学



HOME



CONTACT



NEWS



共同化カリキュラムについて

サイト内検索

検索

Contents

» トップページ

» 京都三大学教養教育共同化とは

» 共同化カリキュラムについて

» 京都三大学教養教育研究・推進機構について

教養教育共同化科目のあらまし

教養教育共同化授業は、平成26年度に68科目でスタートしましたが、令和4年度は別添の「共同化科目一覧」のとおり77科目（人文科系30科目、社会系44科目、自然系23科目）となります。そのうち少人数による討論等を中心としたリベラルアーツ・ゼミナールが11科目、京都という地の地域的、歴史的、文化的特色を生かした「京都学」科目が15科目となっています。これらの内容は、別添の「各科目概要」のとおりです。



「共同化科目一覧」はこちら



「各科目概要」はこちら



<https://kyoto3univ.jp/p110>



(実は) こんなこともありました。

- NIIオープンフォーラム (2011年6月)
 - 前身となる支援事業
 - 学認Moodle (2014年頃～ ?) はまだ。

実現せず。
(できれば・・・)

国立情報学研究所オープンハウス (平成23年度)

学術情報基盤オープンフォーラム

学認を活用した地域連携に向けて

京都 (2)

京都工芸繊維大学 情報科学センター
梶田 秀夫 (h-masuda@kit.ac.jp)

2011年6月3日

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

1

戦略的大学連携支援事業: 京都府国公立大学ヘルスサイエンス系
共同大学院の創設と総合的連携による大学力強化

- 京都府立医科大学、京都府立大学、京都工芸繊維大学、京都薬科大学
 - 平成20年度から3年間の事業
- 3大学連携推進協議会 (府医大、府大、工繊大)
 - 元の三大学連携を発展、「教養教育の共同化、専門教育の単位互換、教育評価法の共同開発、研究交流、共同研究の推進、研究設備の相互活用、地域貢献活動の連携強化」など (一部略) 大学力を飛躍的に強化することを目的とする
 - 3大学間の学生共用NWの新設
 - 教養教育プログラムのe-ラーニング実施に向けた条件整備

[当初案] - 集中型

- 幹事校に認証LANを構築し、全ての大学がそこにVPNを張る
- 幹事校にe-ラーニングシステムを導入し、全ての利用者が、そこに遠隔アクセスする

2011年6月3日

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2

本事業の現状

- それぞれの大学独自のNWを、個別VPNで他大学に延長する
 - Multiple SSIDを利用。
- それぞれの大学が認証システムを管理・認証をして、認証結果を元に、認可だけをe-ラーニングサーバにやらせる
 - (まさに) Shibbolethでできるのではないかな?
 - 限定したフェデレーション
- 学認への期待・課題 (?)
 - Shibboleth対応のASPのようなもの
 - データの取り扱いに安心できるものが嬉しい
 - 参加組織を限定したフェデレーションからの展開スキーム
 - 小規模組織、各種インテグレータに“やさしい”もの

2011年6月3日

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

3

時代が求める新たな教養教育（京都三大学教養教育共同化事業）

京都三大学教養教育研究・推進機構

Institute of Liberal Arts and Sciences.

Kyoto Institute of Technology, Kyoto Prefectural University, Kyoto Prefectural University of Medicine

文字サイズ

小

中

大

背景色変更

標準

青

黒

→ 京 都 府 立 大 学

→ 京 都 工 芸 繊 維 大 学

→ 京 都 府 立 医 科 大 学



HOME



CONTACT



NEWS



教養教育共同化施設の概要

サイト内検索

検索

Contents

» トップページ

» 京都三大学教養教育共同化とは

» 共同化カリキュラムについて

» 京都三大学教養教育研究・推進機構について

教養教育共同化施設

府立大学が立地し、京都府立京都学・歴史館や京都府立植物園などが隣接する北山地域を「北山文化環境ゾーン」として京都府が整備を進めることとなり、その一環として平成22年度に教養教育共同化施設についても整備を進めることが明らかにされました。そして、平成24年度に着工され、平成26年度に完成しました。

施設の概要

<https://kyoto3univ.jp/p150>

2020年度当初の通知時系列 (抜粋)

03/30「前(春)学期の授業について」

- ・ 講義室等における対面授業の開始日を5月7日に延期
- ・ 4/13から5/1の間にLMS等を利用して授業一回分の学習活動を実施

04/03「前(春)学期の授業の実施方法及び受講登録の流れについて」通知

- ・ 4/6, 7の新入生オリエンテーションを中止。情報リテラシーガイダンス延期(5/7以降の) 講義室等における対面授業については、間隔を十分に取った座席配置により実施。遠隔授業も併用。
- ・ 京都三大学教養教育共同化科目について4/13,4/20,4/27は休講扱い。

4/16 緊急事態宣言発令(対象地域:全国)

04/17 「5/7以降の授業実施の方法について(第2報)」通知

- ・ **前学期のすべての授業をオンライン授業(遠隔授業)で実施**するものとします。

04/20 「大学の閉鎖に伴う教育研究活動について」通知

- ・ 5/6まで大学を閉鎖(必要最低限の学内作業を除く)

04/20 「学生の研究室での活動について(第3報)」通知

- ・ 研究室での活動禁止措置をを6月30日まで延長

04/20 「課外活動の禁止について」通知

永井ら：「新型コロナウイルス対応における京都工芸繊維大学情報科学センターの取組」
第32回CLE研究発表会 情報処理学会研究報告 Vol.2020-CLE-32(7), 1-8 (2020-11-20)

京工繊大Moodle <https://moodle.cis.kit.ac.jp/>



- 常勤教職員、
全学生の登録
(CISアカウント発行)

- 学務データに
基づくコースの
事前作成

- 約2,000コース/年
- 履修登録データ
との(緩い)連動機能

利用コース数

- 159 (2019年度)
- **1,305 (2020年度)**

Moodleシステム

あなたはログインしていません。(ログイン)

京都工芸繊維大学
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ナビゲーション

- Home
- 検索
- サイトニュース
- Moodle 利用手引き
- Moodle よくある質問 (FAQ)
- 【教員のみなさま】Webexスケジュールオプションの設定について
- コース

Click the link to change language setting to English.

【教員のみなさま】Webexスケジュールオプションの設定について

サイトニュース

Moodle アプリでの閲覧に不具合が生じています
2022年 05月 9日(月曜日) 14:26 - 管理ユーザ 玉井 の投稿

現在、本学のMoodleのバージョンが、最新のMoodle アプリ(Moodle App4.0.0)に対応しなくなったため、Moodle アプリでの閲覧に不具合が生じています。最新アプリでの閲覧には、Moodleのバージョンアップが必要ですが、更新は夏以降となる見込みです。

ご不便をおかけし大変恐れ入りますが、Moodleの閲覧は、アプリではなく、スマホもしくはパソコンから、「ブラウザ」でアクセスをお願いできますでしょうか。
<https://moodle.cis.kit.ac.jp/>

ご迷惑をお掛けし、大変申し訳ありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

<参考>
https://docs.moodle.org/dev/Moodle_App_4.0.0_release_notes
パーマリンク

【前学期】受講登録者名簿に基づくコースへの受講生登録が完了しました
2022年 04月 21日(木曜日) 14:51 - 管理ユーザ 玉井 の投稿

学生のみなさまへ

Moodleの使用について自信のない学生向けに、以下のコースを新設しました。ご活用ください。

- はじめてMoodleをご利用になる学生向けの受講サポート

学生向け「遠隔授業システム利用支援相談窓口」

情報科学センター指導員(技術補佐員)による、学生向け「遠隔授業相談窓口」を開設します。遠隔授業受講の際のご質問にWebEX上で対応します。

- 窓口受付時間: 平日16時30分~19時30分
- 遠隔授業システム利用支援相談窓口

[1] 梶田ら:「低コストな高可用性と学務システム連携を考慮したMoodleシステムの構築」, 情報処理学会IoT研究会, ICM2008-12, pp.65-70, May, 2008.

[2] H.Masuda, et.al.:`Moodle Integration of an Automated Account Enabling System and a User Status Collection System`, ACM SIGUCCS 2011 Service & Support Conference, pp.207-210, November 12-17, 2011.



ファイル共有システム <https://drive.cis.kit.ac.jp/>

← → ↻ 🏠 🔒 🔍 <https://www.cis.kit.ac.jp/services/nextcloud/> 🔍 検索

☎ 075-724-7951 | ✉ hello@cis.kit.ac.jp | 📌 お問い合わせ 情報科学センターサポート窓口

 京都工芸繊維大学 情報科学センター
KYOTO INSTITUTE OF TECHNOLOGY Center for Information Science

Search... Search

情報科学センターについて ▾ 障害情報 メンテナンス情報 提供サービス ▾ Webサービス ▾ サポート窓口 ▾ リンク ▾

京都工芸繊維大学 情報科学センター > 提供サービス > ファイル共有システム (NextCloud)

ファイル共有システム (NextCloud)

情報科学センターでは、 NextCloudと呼ばれるWebベースのファイル共有システムを構築し、本学教職員・学生※に提供しています。

- NextCloud
 <https://drive.cis.kit.ac.jp/>

 NextCloudを用いると、

- Webブラウザ・WebDAVクライアント・専用アプリを通じてのファイル共有
- Webブラウザを通じてスケジュール表を管理し、グループでの共有やiCalendar形式での公開などが行えます。

 NextCloudは情報科学センターのアカウントをお持ちの教職員・学生※であればご利用いただけます。積極的なご利用を歓迎いたします。

※但し、教職員・教員から利用許諾申請のあった学生のみ・学生は個人用ファイル保存領域利用不可。

利用手引きにつきましては、 [こちら](#)をご覧ください。

ファイル共有サービスで機密性情報文書を取扱う場合の注意事項



三大学共同科目への対応検討

- 京工繊大は、以下をCISアカウントのShibboleth SSOで運用。
 - Moodle: 文書提供やレポート授受など
 - Nextcloud: ビデオ教材などの大容量ファイル (Moodleから手動リンク)
 - Webex: オンライン配信
- 京府立大・京府立医大の学生が、京工繊大提供の科目を受講する場合は、科目等履修生扱いとして個別にアカウントを京工繊大から提供
- 府大・府医大では、メールアカウントの提供のみ (LMS運用なし)。

課題

- 府大・府医大・工繊大の、科目担当教員・学生が利用できるLMSの提供
 - アカウント発行・授受・パスワード忘れ対応
 - 利用者教育 (窓口対応)

さて、切れるカードは。

a) 各大学のShibbolethを利用し、学認Moodleを使う。

- 匿名化されている。後でしか戻せない。(学生識別に難あり)
 - 府大・府医大には技術担当者が(ほぼ)居ない・・・。
- コンソーシアムとして使う想定ではない。

b) 工繊大Moodle (+Nextcloud) を、府大・府医大にも提供する。

- アカウント配布をどうするのか。(そもそも大学に来てない)
 - 府大・府医大の担当教員数 約60名。関連学生数 約2,000名。
 - アカウントを複数持つことになる

c) 工繊大Nextcloudを、担当教員で利用可能にし、ファイルの授受機能のみ提供とする。

- 担当教員数分のアカウント配布をすれば良い。
 - 受講生は、講義毎の共有リンクを利用するのみ(認証なし)
 - 学務システムの講義連絡ページにリンクを置く
 - ファイル共有の不適切利用の懸念は、リンクの有効期限を限定してあることで許容する(定期的(毎週)な付替えが必要)

やってみた。(2020年度前期, c案)

← → ↺ 🏠 🔍 https://jira.cis.kit.ac.jp/browse 90% ☆ 🔍 検索

情報科学センターサポート窓口 / CISSUPPORT-6647 19 / 45 🔍 検索に戻る

✎ 編集 Q コメント 割り当て その他 ▼ 課題の再オープン 管理 ▼ 🔗 📄 エクスポート ▼

▼ 説明
経緯のメールの最後。

2. 5月11日以降の対応
○基本的方法
1) 他大学学生にセンターアクセス権限は持たせられないので、Moodleは共通して使えない。
2) 三大学教員が京都工芸繊維大学情報科学センター (KITCIS) の「NextCloud」というファイル共有システムを使用して、教材・課題の共有、課題の提出を三大学共通に行う。
○アカウント
担当教員にNextCloud にアクセスするためのアカウントを交付する。
約60名の担当講師のアカウントを早急に交付できるかどうか、センターと協議中。
○教材や課題ファイルの共有方法について
1) 担当教員がNextCloud にアクセスし、共有したいファイルをドラッグ&ドロップする。
2) 有効期限を設定し、URLで共有する。
3) 共有したURLを指示文書に記入し、各大学のポータルを通じて学生に通知する。
○課題の回収方法について
1) 担当教員がNextCloud にアクセスし、共有フォルダを作成する。
2) フォルダの共有属性を「ファイルドロップ (アップロードのみ)」に設定する。
3) 有効期限を設定し、共有URLを指示文書に記入する。
4) 学生は共有フォルダに課題ファイルをドラッグ&ドロップする。
○オンライン授業の別法と双方向の保証
1) 各教員に科目ごとの受講生のメールアドレスリストを配付する。
2) これにより、WebExやZoomなどのライブ授業あるいはそれによる録画ファイルを共有できる。
3) 本学所属教員と本学所属学生の間はMoodleでの質疑、それ以外の教員・学生間のやり取りはメールで行う。学生全員に可視化された双方向のやり取りは困難である。
4) 出講の記録は、Moodleあるいはポータルに残される。

▼ 添付ファイル ...

Masuda Hideo
報告者:
Masuda Hideo
リクエスト参加者:
なし
組織:
なし
投票:
0
ウォッチャー:
5 この課題のウォッチを中止する

▼ Service Desk リクエスト
リクエストタイプ:
一致するものはありません ⓘ
チャンネル:
JIRA

▼ 日付
作成日:
2020/4/21 12:37 午後
更新日:
2020/5/21 3:55 午後

やってみた。(2020年度後期, b案)

2020 年度後学期における三大学教養教育共同化授業のオンライン対応に関する覚書

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、2020 年度前学期の三大学教養教育共同化授業はすべてオンラインで実施することとなった。三大学の講師・受講生が共通で利用できる学習支援システム (LMS) を保有しないため、緊急的な対応として、5 月の連休明けより、京都工芸繊維大学情報科学センターのファイル共有システム (Nextcloud) を共用することで、講師と受講生の間での授業資料の配付や課題の回収などを実施した。しかし、京都府立大学と京都府立医科大学の受講生は京都工芸繊維大学の情報システムにログインする資格を持たないため、セキュリティ上の対策として、ファイル共有システム内のコンテンツの利用については、2 週間の期限を付けた URL でのファイル共有という形にならざるを得ず、講師、受講生ともに不便を強いられることとなった。そのため、各大学の学務課および京都三大学教養教育研究・推進機構 (以下、機構) では、毎週末に、翌週の共同授業に関する URL を講師全員から回収し、各大学のポータルサイトで受講生に通知するなど、事務方の負担も大きくなった。また、ファイル共有システム内の講師個人のストレージ容量にも制限があり、授業資料や受講生のレポートなどを長期間保管することができないこと、ファイルに送信・保管されたレポートなどの確認・採点等も手作業に苛らざるを得ず、Moodle などの LMS の利用に比べれば極度に非効率な作業を強いられたため、講師からは多くの苦情が寄せられた。

後学期は、それらの問題点を改善するために、次の対策を講ずることとする。

- (1) 三大学教養教育共同化授業のオンライン対応として京都工芸繊維大学が運用する全学 LMS (Moodle) 及び全学ファイル共有サービス (Nextcloud) を利用できるようにする
- (2) 京都府立大学、京都府立医科大学を含むすべての共同化科目受講生に対し、上記 LMS の利用資格を付与する
- (3) 京都府立大学、京都府立医科大学を含むすべての共同化科目実施担当者に対し、上記 LMS の利用資格を付与する

以上の対策により、講師、受講生、各大学及び機構の事務は前学期に強いられた業務や作業の負担が軽減することは確実である。ただし、京都工芸繊維大学の情報科学センターではシステム更新を控えていることもあり、臨時的な対応とならざるを得ない。

以上を踏まえて、今年度後学期の三大学教養共同化授業に係る受講生全員の受講環境、講師の授業環境を改善することを最優先に考えて、三大学の副学長は下記のことを誓約して、覚書を記すこととする。

記

1. 上記 (1)～(3) の緊急対応策が後学期の開講準備段階から成績処理完了まで継続的に実施されるように三大学は最大限の協力を行う。
2. 京都工芸繊維大学が提供する情報システムを利用するにあたり、三大学は別紙「三大学教養教育共同化科目実施における情報システム利用約款」に記載された事項を遵守する。
3. 今回の緊急対応策により、京都工芸繊維大学情報科学センターでの業務負担の増加が甚だしくなった場合には、機構運営委員会としてその対策について協議する。
4. 今回の対応策は、2020 年度後学期における緊急のものであり、2021 年度以降のオンライン授業環境については、別途三大学で具体的な協議を行う。
5. その他、2020 年度後学期において三大学教養教育共同化授業の運営に関して発生した課題に対しては、三大学はすみやかにかつ真摯に協議する。

以上

2020 年 月 日

京都府立大学 副学長 (機構運営委員会委員長)

印

京都府立医科大学 副学長

印

京都工芸繊維大学 副学長

印

今後はどうする？

- 技術よりも業務の壁が多い。
 - 学年暦・時間割の時間帯の違い
 - 学務業務の違い
 - システム運用をマネジメントできる人材が全大学には不在

集中型 vs 分散型 vs …

- 1つのLMSを全大学で共通して使う
 - 壁を超えてすり合わせる努力が必要
→それぞれで持ち出して共同化したら安上がり、だったのに…。
- 各大学のLMSをフェデレーションして相互利用可能にする
 - 各大学での運用管理技術の向上(?)が必要
 - 大学間での学務業務への摺り合せはどうしても必要

ありがとうございました。

